

各位

2016年6月2日  
株式会社 オロ

## 日本ディクス株式会社が基幹業務システムに オロのクラウド ERP「ZAC Enterprise」を導入

株式会社オロ（東京都目黒区 代表取締役社長 川田 篤、以下オロ）は、日本ディクス株式会社（東京都千代田区 代表取締役 戸邊 光男、以下日本ディクス）がオロのクラウド ERP「ZAC Enterprise」（以下 ZAC）を基幹業務システムとして導入したことを発表いたします。

また、ZAC 導入に至る経緯と導入後の効果について伺った特別インタビューを ZAC Enterprise 製品 Web サイトにて公開いたします。

### <インタビューピックアップ>

- ・ 事業規模の拡大により生じた、業務管理の課題とは？
- ・ なぜ、複数事業の経営管理に ZAC が最適だったのか？
- ・ ZAC を導入したことで、月次決算など経理業務が大幅に短縮できた理由とは？



### ■ 工数管理の充実と、カバーできる業務範囲の広さが ZAC 選定の決め手

日本ディクス株式会社は、システム開発からシステムインフラの設計・構築、エンジニア派遣まで、IT のワンストップサービスを幅広く提供しているソリューションベンダーです。

同社においては、利益を確保していくために、社員一人ひとりの工数管理が非常に重要でしたが、事業の拡大に伴い表計算ソフトでの管理に限界が出てきたことが、システム導入のきっかけでした。また、同社には事業部門が複数存在し、部門ごとに業務管理や経営管理の方法が異なっており、これらの業務を一元管理できることが必要でした。こうした課題に、プロジェクト型ビジネスに最適化された ZAC の工数管理機能と柔軟性がマッチしました。

### ■ 月次決算は 5 営業日短縮、全社的にも大きなシステム導入効果が実現

例えば、ZAC 導入以前は支払いの FB データ作成を手作業で行っていたものを、ZAC 導入後は FB データが自動作成されるようになったため、作業時間を大幅に短縮。対外帳票への押印が電子押印に置き換わったり、申請承認プロセスをシステム上のワークフローに乗せることで、作業効率化と内部統制の強化を両立。こうした細かな改善の積み上げで、経理部門の月次決算にかかる日数が 5 営業日程度短縮されました。

事業規模の拡大により生じた業務課題を、ZAC 導入によりどのように解決していったのか。

ZAC の導入事例インタビューをぜひご覧ください

### 【日本ディクス株式会社 ZAC 導入事例】

<https://www.oro.co.jp/zac/casestudy/case43.html>

### <本リリースに関するお問い合わせ>

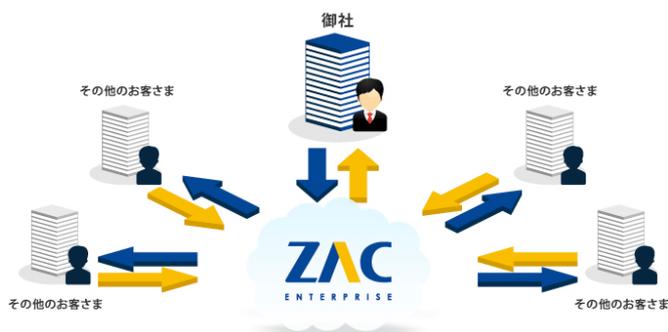
株式会社オロ マーケティンググループ 担当：西村 TEL：03-5843-0653 / Mail：[zac@jp.oro.com](mailto:zac@jp.oro.com)

## ■ クラウド ERP「ZAC Enterprise」について

ZACはプロジェクト別・案件別の利益管理を実現するクラウド ERPです。プロジェクト管理・販売管理・購買管理・勤怠管理・経費管理から管理会計・BI ツール・グループウェア機能を持ち、機能単位ごとの月額 SaaS 利用も可能です。2006年の提供開始以来、350社以上の導入実績、80,000ライセンスの販売実績を持ちます。

### 特長1 クラウド SaaS 対応の ERP

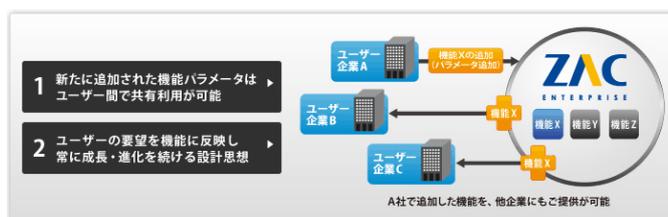
クラウド・SaaS型によるサービスの提供により、サーバー等のシステム導入に伴う各種設備投資が不要となります。日々のデータのバックアップやメンテナンスなどの保守・運用はオロのデータセンターで管理されるため、運用にかかる固定費・人件費の削減と、災害など有事の際の対策を実現します。



ZAC Enterprise の利用イメージ

### 特長2 パラメータ設計の機能優位性

ZACはユーザー企業個々の要望に対して、パッケージ内部のパラメータを設定することにより機能適合するため、個別開発を必要とする従来システムに比べ、低コスト・短期間での ERP 導入を実現しています。パラメータはユーザーの要望を反映し日々追加されるため、常に成長・進化を続ける設計となっています。



パラメータ設計のイメージ

### 特長3 広告・IT・コンサルティングなどのサービス業に特化

ZACは広告業・IT サービス業・ソフトウェア開発業・コンサルティング業などのサービス業に特化しています。プロジェクト管理会計、個別原価計算など、上記業種・業態に必要とされる機能要件・仕様をパラメータとして多数保有しており、サービス業のベストプラクティスを多数搭載した ERP と言えます。

### 主な導入企業（順不同）

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 株式会社カヤック           | 株式会社サニーサイドアップ    |
| 株式会社 ADK インターナショナル | 株式会社バクトル         |
| 株式会社クロス・マーケティング    | 株式会社永和システムマネジメント |
| 住友林業情報システム株式会社     | 株式会社 JTB プランニング  |
| みらいコンサルティング株式会社    | 株式会社エイド・ディーシーシー  |
| 株式会社 INA 新建築研究所    | 株式会社デジタル・メディア・ラボ |

## ■ 株式会社オロについて <http://www.oro.co.jp/>

オロは、アイデアとテクノロジーにより企業の内側と外側を強くするソリューションプロバイダーです。企業の内側を強くするソリューションとは、業務効率化や生産性向上などの経営課題を解決するサービスのことで、クラウド ERP ZAC Enterprise の開発を中心に、IT ソリューションを提供しています。企業の外側を強くするソリューションとは、マーケティング・広報・採用などの対外コミュニケーションを総合的にデザインするサービスのことで、コミュニケーション戦略の立案から、web マーケティング、web インテグレーションを提供しています。

## ■ 会社概要

社名	株式会社オロ	<a href="http://www.oro.co.jp/">http://www.oro.co.jp/</a>
設立	1999年1月	
代表者	代表取締役社長	川田 篤
従業員数	単体 251人 / 連結 313人 (2016年4月1日現在)	
資本金	9,000万円	
事業内容	ビジネスソリューション事業 ・クラウド ERP「ZAC Enterprise」( <a href="http://www.oro.co.jp/zac/">http://www.oro.co.jp/zac/</a> ) の開発・提供 ・クラウド PSA「Reforma PSA」( <a href="http://www.oro.co.jp/reforma-psa/">http://www.oro.co.jp/reforma-psa/</a> ) の開発・提供 ・企業向けシステムソリューションの提供 他 コミュニケーションデザイン事業 ( <a href="http://www.oro.co.jp/cd/">http://www.oro.co.jp/cd/</a> ) ・企業と各ステークホルダーとのコミュニケーション戦略立案 ・WEBサイト戦略立案・企画・構築・運用 他	
所在地	東京本社	東京都目黒区目黒 3-9-1 目黒須田ビル
	西日本支社	大阪府大阪市中央区伏見町 4-4-1 日生伏見町ビル本館 7階
	中部支社	愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-23 第三堀内ビル 9階
	北海道支社	北海道札幌市中央区北一条西 6-2 損保ジャパン日本興亜札幌ビル 4階
	宮崎サポートセンター	宮崎県宮崎市橘通西 2-4-20 アクア宮崎ビル 3階
関連会社	中国	欧乐科技(大连)有限公司
	シンガポール	ORO Technology Singapore Pte. Ltd.
	ベトナム	ORO Vietnam Co., Ltd.
	マレーシア	ORO Malaysia Sdn. Bhd.
	タイ	ORO Thailand Co., Ltd.
	台湾	台灣奧樂股份有限公司